

## 臨床研究推進研修会に参加して

宇都宮病院 薬剤科 田部井 彰

今年度1年を通して、臨床研究推進研修会に参加させていただきました。私は薬剤師になって2年目で、臨床研究に関しても無知であり、参加するにあたって不安な点も多くありました。

その中で、私がこの研修に参加したのは、臨床研究に興味があり、そのノウハウを習得し、今後の仕事に生かして行きたいと考えたからです。

今回のこの研修は、講義により学ぶことと、グループでのディスカッションを通じて臨床研究のノウハウを学ぶ内容となっていました。

参加する前の私は、臨床研究についてはほとんど無知で、「面白そうだけど何をしたらいいのかわからない。」というのが正直な感想でした。

参加して、最初に与えられた課題は、「日々直面している患者さんの薬物治療に関する臨床上の疑問（クリニカルクエスチョン）を考えてくること。」でした。1年間働いてきましたが、なんとなく過ごしてきてしまい、あまり疑問に目を向けてきませんでした。いざ疑問と言われてもすぐに出てこなく、どのような疑問を挙げたらいいのかわからず、長い時間悩んだことを覚えています。

1回目の研修の講義では、最初に臨床研究の歴史や、人を相手に研究を行う上で絶対に必要な倫理的知識、必須の用語に関して学びました。臨床研究を行うにあたり、絶対にわかっておかなければならないことであるため、最初の講義で学ぶことが出来てよかったと思っています。

続いて、これから自分たちが取り組んでいくこととなる研究課題を考えるために必要な知識であ

る、リサーチクエスチョンを考えるための講義がありました。最初は難しく考えていたクリニカルクエスチョンですが、堅苦しく考えず、まずは疑問に思ったことを書き出してみることから始めてみましょうとの講義がありました。どうしても大きな疑問（先生の言うホームランを狙うような疑問）を考えなければならないのかとプレッシャーを感じていましたが、そうじゃない、小さな疑問でも、興味を持てる疑問を挙げればいいのだと、考えを改めさせられました。そしてその小さな疑問から、研究計画まで考えていく方法を学びました。

講義を終えてからは6人一組のグループに分かれてテーマを決めるためのディスカッションを行いました。考えてきたクリニカルクエスチョンを出し合い、それに関して研究計画を考えました。違う施設の人と話し合い、様々な疑問が挙げられ、日々自分が関わっていたことで疑問に思っていなかったことも、ふと考えてみればどうしてだろう？と思うようなことがたくさんあり、すごく刺激になりました。日常の業務でもっと疑問を持ち、考えていきたいと思われました。

1回目の研修が終わってからはしばらくメールでのやり取りとなりました。研究計画をより詳しく考えるために、様々な文献を読んで基準であったり、評価項目を考えなければならないことを知り、調べようと思いましたが、自分の病院では文献の検索ツールがなかったりと、いろいろな障害があることを思い知らされました。

2回目の研修では、研究デザインの立案方法や統計に関する講義がありました。その講義を聞き、自分たちが行おうとしていたクリニカルクエスションは実現可能であるのか？研究する意味はあるのか？再度見直すこととなりました。講義後のディスカッションでは、そのあたりについて、グループで話し合い、結局その日のうちにはグループのクリニカルクエスションは決まりませんでした。2回目の研修が終わった後も、今後のクリニカルクエスションを決めるために、メールで何度も話し合いを行いました。

次の研修までにいろいろ考え、自分の意見を言わなければならなかったのですが、日々の業務に追われ、あまり積極的に参加できず、同じグループの先生方にご教授頂いていた高橋先生にご迷惑をおかけしたことを心苦しく思っています。そんな中、学会発表での私の発表を聞きに来てくださったグループの担当委員の先生から、グループの先生方に追いつくために必要な情報を教えていただき、なんとか3回目の研修に参加できました。担当委員の先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

3回目の研修では、評価項目の選定方法や検定についての講義がありました。今回、私たちのグループは検定方法まで決定するまでには至らなかったのですが、評価項目については議論することができました。

講義後のディスカッションでは、より具体的に

目的、対象、方法、評価項目についての議論を行いました。何を参考にするのか、文献の内容や副作用のグレード評価等いろいろな意見が挙がり、少しずつ意見がまとまってきて研究らしくなってきました。

4回目の研修では、1年間の成果を発表するために、直前の最後のディスカッションを行いました。対象症例についてと、評価項目については最後まで議論がなされ、発表前ぎりぎりのところで班としての意見がまとまり、発表となりました。

発表は多くの施設の先生方に参加していただき、私たちの成果を発表することが出来ました。至らない点も多かったと思いますが、そういった点の指摘や、助言等、本当に参考となる意見をいただき、参加者の方々には感謝しております。

1年間の研修を通じて、臨床研究には多くの知識とかなりの時間が必要であることがわかり、一人では難しく、様々なつながりが大切であることがわかりました。そのつながりが作れたことも、この研修に参加した大きな利益であったと考えます。

最後になりますが、今回このような機会を与えて頂いた企画運営の方々、この研修でサポートして頂いた先生方、そしてこの研修に参加させて下さった当施設の先生方、本当にありがとうございました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

